

小学校 6年

貴族のくらしにタイムスリップ

高槻市立北大冠小学校

教科

社会

単元名

貴族のくらし

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解する。
- ・平安時代の貴族のくらしについてまとめ、説明する。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・情報活用を振り返り、効果を見いだす。
- ・調べたことから考えに対する理由や事例をつなげる。
- ・さまざまな資料、データから読みとった複数の情報をもとに、自分で考えを構築する。

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP 2, G-STEP 3
E-STEP 3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全5時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○貴族についてのイメージを出し、問いを立てる。 ・藤原氏が貴族政治の中で勢力を持っていたころ、貴族はどのようなくらしをしており、どのような文化が誕生したのか問いを持つ。 ・平安時代の貴族の衣食住やその他(年中行事・娯楽など)について、調べたいことを挙げる。 ・調べたいことをもとにして、グループをつくる。
第2次 (1時間)	○図書館資料や思考ツールを活用して調べる。(☆) ○調べたことをオクリンクにまとめる。(☆)
第3次 (3時間)	○これまでに調べたことを交流し、平安時代の貴族のくらしについてまとめる。(☆) (本時)

本時のねらい

- ・平安時代の貴族のくらしの概要を理解する。
- ・図書館資料の情報をもとにして、問いについて自分の言葉でまとめ表現する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時までの学習をふりかえり、発表に向けてオクリンクのスライドの最終調整をする。 ・自分のカードに誤字や脱字はないか、伝わりにくい表現はないか確認する。 ・「自分が説明する立場になる」ということを自覚し、責任をもって取り組む。 めあて：平安時代の貴族のくらしを1～2文でまとめよう。	・伝わる表現になっているか確認するように伝える。 ・本に付箋をつけておき、もう一度参照したいとき利用できるようにする。
展開 (33分)	2. 調べた内容を班で交流する。 ・ジグソー法で調べた内容を伝える。 ・発表する人は、自分なりの言葉で発表する。 ・聞き取った内容は、クラゲチャートに書く。	・クラゲチャートの使い方を復習する。 ・伝わりやすい発表方法について事前に説明する。 ・ワークシートの裏面に例文を載せておき、参考にできるように伝える。
まとめ (7分)	3. クラゲチャートの情報をもとに、平安時代の貴族のくらしがどのようなものであったのかを考える。 ・聞き取った情報から共通する点は何かを考える。 ・1～2文でまとめて、オクリンクで共有する。 ・班や全体で交流する。	・貴族のくらしは豪華・華やかであった一方で、苦勞もあつたことを表現できるように支援する。 ・本の文章を写すのではなく、キーワードが何かを考えて抜き出すように声掛けをする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・複数の本から情報を選択し、聞き手に伝わりやすい表現を選んだり、使用する写真を吟味したりしながら、一人ひとりが試行錯誤して主体的に取り組むことができた。
- ・図書資料から貴族の豪華なくらしを知るとともに、運動不足や偏った食生活による病気で貴族の寿命が短かったことや、その時代の庶民のくらしにも気づいた。



調べた内容を交流している様子

◆授業で使った本の例

- ・江原 絢子『食べ物の日本史』講談社 [タテ割日本史 1]
- ・鈴木 悦子『衣服の日本史』講談社 [タテ割日本史 2]
- ・三浦 正幸『住居の日本史』講談社 [タテ割日本史 3]
- ・永山 久夫『食事から日本の歴史を調べる 2』くもん出版[歴史ごほん 2]
- ・西ヶ谷 恭弘『衣食住にみる日本人の歴史②』あすなろ出版 など